

提案団体名：Wayfarer

○提案内容

<p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等                  ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p>	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>&lt;技術の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電動小型車両が中央管制システムや車両間同士で通信しながら、専用通行帯を高密度で自動走行することにより大量輸送を可能とする新たな都市交通システム</li> <li>・ 既存の技術と当社独自の運行制御システムや周辺ソフトウェア(開発済み)により直ちに実現が可能</li> <li>・ 車両のサイズは、車幅1m, 車長:3m, 車高1.9mで、乗車定員は2名</li> <li>・ 運行速度は50km/h</li> <li>・ 専用通行帯は、道路空間の再編や地下空間の活用によっても整備可能</li> <li>・ 既存の都市交通システムに比べ、少ない占有面積で整備可能なため整備費が安価</li> <li>・ 乗客は乗降ゾーンに待機する空き車両に乗車し、任意の乗降ゾーンまで、原則ノンストップで移動可能</li> <li>・ スマホ等による乗車予約や料金決済が可能(キオスク端末により現金決済も可能)</li> <li>・ 車庫から専用通行帯に送り出す車両台数を調整することで、移動需要の変動に効率的かつ柔軟に対応可能</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入実績はないが、合衆国カリフォルニア州において、大手情報通信企業とMOUを締結し、シリコンバレーからサンフランシスコ湾の南半分を網羅する都市圏交通網として整備計画を策定中</li> <li>・ その他、日本国内3都市、海外2都市と事前協議中</li> </ul>	<p>(1) (2) (3) (6)</p>
<p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ                  ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p>	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>&lt;解決する課題のイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道や地下鉄などの大量輸送機関を整備する空間や財政能力はないが、路線バスなどの中量輸送機関では地域・エリア内の輸送力不足が顕在化している。</li> <li>・ 季節や時間帯の変動による移動需要の変動幅が大きいので、大型車両を定時運行する既存の公共交通システムでは、運営費のロスが過大になっている。</li> </ul> <p>&lt;導入に適している地域の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100kmを超えるような複数の都市圏をまたぐ移動も可能であるが、都市圏内での移動により適している。</li> <li>・ 1日の域外との流入人口が多い地域や、季節・曜日・時間帯に応じて移動ニーズの変動幅が大きい地域</li> <li>・ 臨海部や工業地域、テーマパークへのアクセスなど、政策的に大量輸送機関を導入したい地域</li> <li>・ 2点間移動の大量輸送よりも、起終点が異なる利用者を大量輸送する局面で、より高い導入効果を発揮し、多数の拠点間をネットワーク化する専用通行帯網を設置することで、さらに強みを発揮する。</li> </ul>	<p>(ア) (イ) (オ) (ク) (コ) (サ)</p>
<p>(3) その他</p> <p>京都市において、国土交通省の平成30年度先導的官民連携支援事業を活用し、官民連携による整備を前提として、当社が開発中の新たな都市交通システムについて、法的な位置付け、担保すべき安全性等とそのために必要な技術・性能基準等を検討する調査事業を実施中。                  日本語ホームページ: wayfarer.jp</p>	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
日本代表	Nicholas Gibson (ギブソン・ニコラス)	090-1509-2417	nick@wayfarer.city



# Wayfarer

ウェイファラーのご紹介

Private and Confidential



## 会社概要

Wayfarer（ウェイフェアラー）は、各都市の諸条件や予算、環境に合わせて自由に構築できる大量輸送都市型交通システムです。

Wayfarerシステムは、自動制御式の電気自動車で、1人乗りの車両が車道とは別の専用軌道上を走行して個人利用者を目的地まで安全にオンデマンドでダイレクトに輸送します。

Wayfarerは設備投資、運用費とも従来の交通システムと比べて最大で80%低くおさえることができ、コスト・導入空間の両面で経済性に優れ、公的助成に頼ることなく高い収益性を実現する次世代の大量輸送公共交通です。



## コストが低い

専用軌道整備費

[1] \$1.5M (約1.1億円)

乗車定員1人1km当たりの  
運行経費

[2] \$ 0.05 (約6.6円)

/ 定員1人 / km



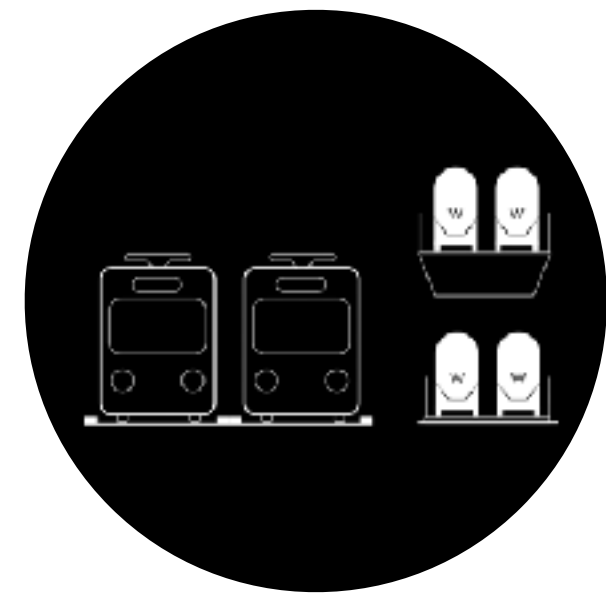
## 障害が少ない

横断面が小さい

**幅はLRTの1/2**

短期間で導入可能

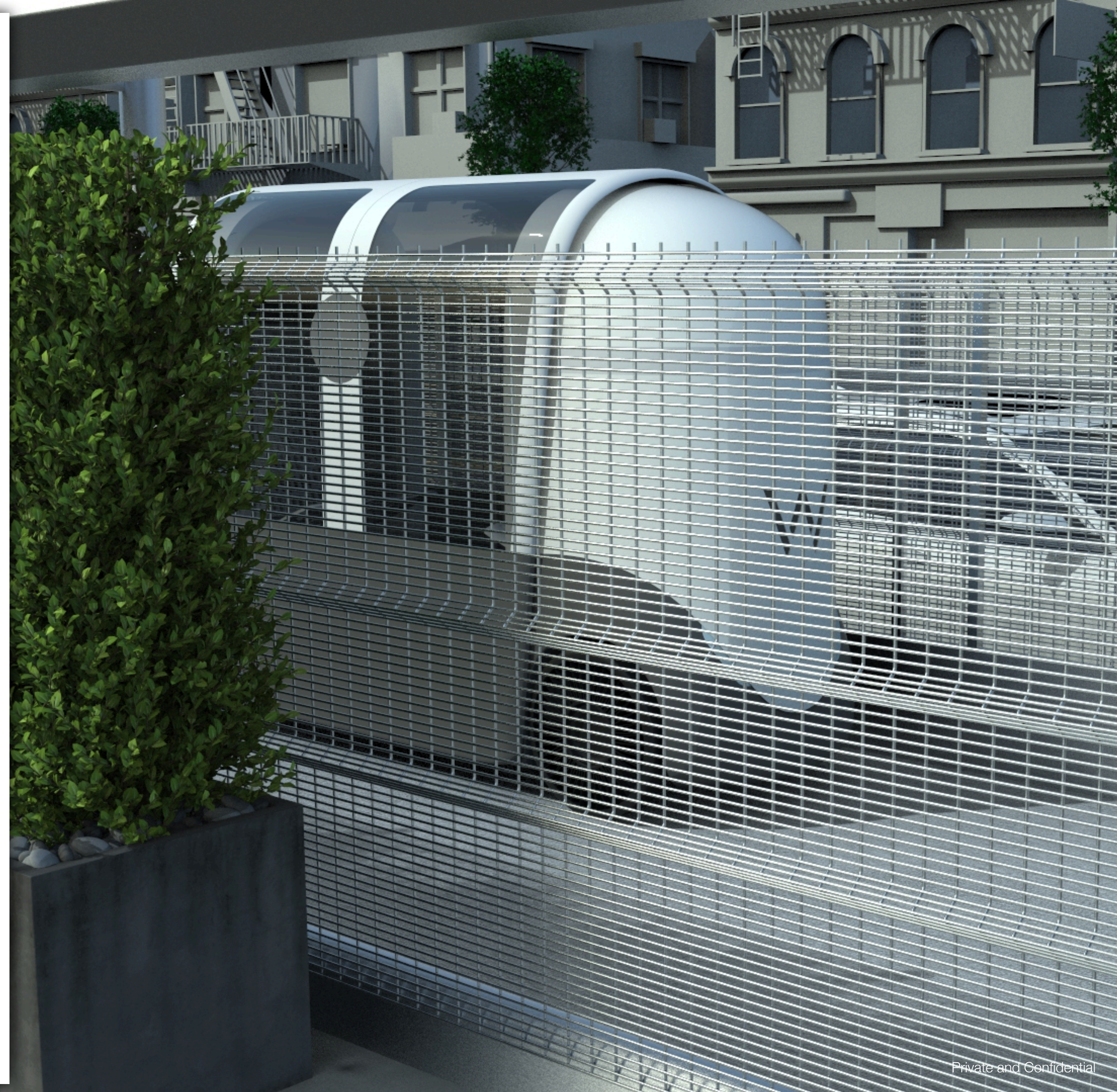
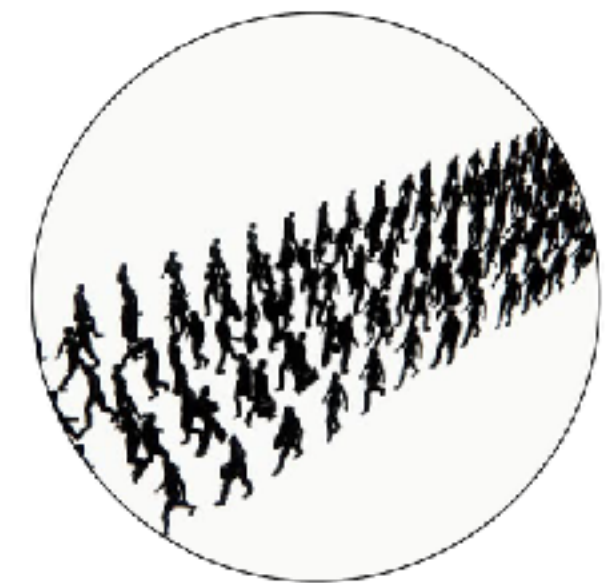
4年



## 輸送力は最大級

**10,000 人 / 時間**

**基幹レーン幅は1.5メートル**



[1] 地上面、更地の場合

[2] 40,000人対応のシステム、オプションで再生可能エネルギーインフラ